

まだ結婚前に妻を長岡大花火に招いたのですが、8月1日長岡まつりで慰霊の白菊を含め、県外の人にメッセージもデザインも自信を持って薦められる祭って素晴らしいですね。その後、8月3日に生まれた第一子の娘が、初めての長岡大花火を河原で見て、『この空の花』で踊っていたのが嬉しかったです。

投稿者 泰一郎さん

私が地域とつながったきっかけのひとつに「川口まつり」があります。太鼓の練習に集まると、今まで知らなかった地域の人と出会います。夜練習することが多いので、終わると缶ビールで一杯。アルコールの力で本番に向けての結束がさらに強まります。こんなつながりがその後の日常にももちろん防災、防犯にも役立っていくことは言うまでもありません。

投稿者 川口地域むすび隊 砂川祐次郎さん



こどもが生まれる前までは、犬を連れて行っていた夏祭りです。犬好きの方とたくさん知り合いました。いまはこどものお友達と行くようになりました。こどもが歩けるようになり、また犬も連れて行くようになります。たくさんの人と出逢えます。みんなのおかげで楽しい時間をすごせるんだなあと思っています。

投稿者 りささん

父が町内の青年会に入っていて、幼い頃提灯を設置するのを手伝いました。今となっては、お祭りを主催する側に！父に感謝です。

投稿者 ゆ〜みんさん

寄せられた投稿は
つなラジで
読まれるかも！

投稿
募集
中

8月の投稿テーマ ○○に助けられました！人生の山登り

投稿方法 投稿フォームを使う QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。

協働センター窓口で投稿する 協働センター窓口には設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

つなラジ 週替わりで市民活動団体を紹介するFMながおかのラジオ番組。
■放送局：FMながおか（80.7MHz）
■放送日：毎週月曜日17時頃～（10分間）※第5月曜日を除く

column
市民活動・虎の巻

多くの参加者を集めるイベントの秘訣
参加者目線と日頃の信頼

日越コミュニティセンター センター長 徳茂順一さん

日越コミュニティセンターでは、日越地区連合町内会と歩調を合わせ、地域行事の企画・実施をしています。地域のイベントに多くの方から参加していただくため、「誰もが参加しやすい・参加したいと思える」ことを意識して企画しています。例えば毎年数千人の方が参加する恒例の地区運動会では、多くの人に関われるようにあえて個人種目をせず、団体種目のみで構成しています。地域には世代や考えも様々な方がいるので、「分かっているだろう」と判断を各自に任せるのではなく、細かなことでも明確にして文章で伝えることも大切です。なお、運動会を行えばその前には町内での練習が、後には慰労会がありますが、そのような日々の親睦や融和を深める努力が、いざというときに多くの人に動いてもらえる力の源となっていることは言うまでもありません。

※この記事はWEBサイト「コライト」からの抜粋です。



information
センターからのお知らせ

私たちがつくる
「まちの文化祭」
ながおか市民活動フェスタ2017！

メイン会場／アオーレ長岡
サテライト会場／まちなかキャンパス長岡・CoCoLo長岡本館2階



ながおかの市民活動団体が大集合！その数64団体。活力溢れる手作りの活動で、暮らしを楽しく・豊かにする出会いがきっとあります！毎年5,000人が足を運ぶ市民活動の祭典をぜひご覧ください。

9月9日(土)
10:00-15:00



コライト、見ないと！

コライト

検索

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこってのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこって

2017.8.1
(vol.56)

FREE

【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail. kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所

長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

知る、つながる、好きになる ながおか市民活動情報誌

らこって

Racotte
vol.56

発行 ● ながおか市民協働センター

2017
8
FREE

チャレンジ精神で与板に新風を吹かす25歳
下村 将さん



インタビュー interview



地域のつながりを編む手芸作家
わきたたえこさん

● 団体PickUp！

「得意を活かして地域を盛り上げる」
越後川口モーターフェス実行委員会

「力を合わせてマラソン大会を実現！」
長岡縄文の丘マラソン実行委員会

「大自然の手づくり音楽フェス！」
音楽の森プロジェクト

「市民目線で子どもを虐待から守る」
特定非営利活動法人子どもの虐待防止ネット・にいがた

● 長岡企業のソーシャルアクション！

「地域とともに発展する企業」
朝日酒造株式会社／公益財団法人こしじ水と緑の会

● みんなの声

投稿テーマ「誰かと一緒に夏祭り」



FMながおか
80.7MHz

毎週月曜日17時頃から放送中！
つながるラジオ

ながおかの
市民活動紹介番組

放送時間
10分程度
第5月曜日を除く



下村 将さん〈25歳／会社員〉キャンドルナイト@与板実行委員会

チャレンジ精神でバトンを引き継ぐ 仲間を巻き込んでイベントに新たな風を

キャンドルの灯りが与板のまちを優しく照らす「キャンドルナイト@与板」は平成26年から始まり今年で5回目。回を重ねるごとに地域の“顔”として定着しつつあるイベントに、平成28年度から実行委員として参加する下村将さんは弱冠25歳。今年は総勢約60名の当日スタッフの動きを管理するキーマンとして大車輪の活躍を見せました。

「何事もやってみなければ分からない」をモットーに、興味を抱いたことにはまず飛び込んできた下村さん。専門学校生の頃はオープンキャンパスの学生委員や、地域イベントの企画運営に加わりました。就職で一時与板を離れるものの、Uターン後、行きつけの理髪店の店主に誘われ実行委員となりました。

「初参加した年は当日どんな仕事をすればいいかわからなかった。いつ、誰が、何をすればいいか役割分担ができれば、初めての

人も動きやすいし、みんなの負担も軽減すると感じていました」。2年目の今年、自分が参加して感じた問題点を改善する役割を買って出ると、仕事で培ったスキルを活かし、スタッフのタイムスケジュールをつくりました。「先輩達からすれば途中参加の若手の意見には耳をふさがちですが、このチームには若手の背中を押すべきという雰囲気がありました」。他にも、今年から参加した若手スタッフのアイデアが採用されるなど、途中参加者がイベントに新しい風を吹き込んでいます。

与板が好きで、仕事を变えてまで戻ってきた下村さんは、若い世代が市民活動を通じてつながりを強めていってほしいと考えています。「みんな一歩を踏み出すきっかけがなければいけないのかも。私が呼び水となって同世代を活動に巻き込んでいければ」と、持ち前のチャレンジ精神で牽引していきます。



●上：いつも与板のゲストハウスで行われる実行委員会のミーティングの様子。何度も話し合いを重ねることで、世代を超えたつながりが生まれました。●左下：街中が熱気に包まれる「与板十五夜まつり」には幼いころから参加。「お祭り・イベント好き」は与板に根付くDNAなのかもしれません。●右下：イベント当日の様子。「キャンドルナイトをきっかけにもっと与板の魅力を知ってもらえれば」と下村さん。

profile

- 1992年 長岡市旧与板町で育つ。幼いころから多くの人が集まるイベントごとは好きで、与板十五夜まつりなど地元のお祭りに好んで参加していました。
- 2014年 地元で就職後、転勤で新発田市へ。与板を離れたことで地元への愛着を強くする。同年、転職をしてUターン。
- 2016年 キャンドルナイト@与板に実行委員として関わり始める。最年少だった1年目はとにかく周囲の状況把握に努めました。翌年も継続して実行委員に。

活動の根っこ

「楽しいって
やってみなければ
分からない」
下村 将



わきたたえこさん〈52歳／手芸作家〉くらしクリエイター

笑っていられる場所をつくりたい 手芸が得意!と旗を掲げることでじまる場所づくり

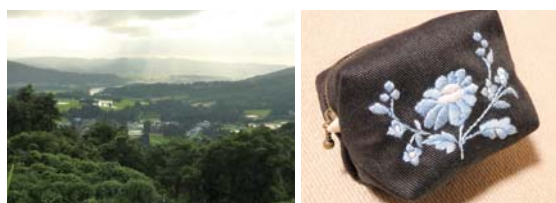
得意の手芸を活かしてイベント出店やワークショップ講師、コラボでの企画運営など手芸作家として活動するわきたさん。取組みの傍らで、つながりや居場所づくりを意識した企画にも力を入れています。

わきたさんは、川口地域在住の親友がいたことをきっかけに愛知県から移住。復興支援員の職に就き、地域をサポートする日々から「多くの地域活動が巻き起こる中で、人が集うためには何よりも、人の存在が大切だと気が付いた」と話します。

この経験から、支援員を退職した現在も、もともと得意だった編み物や針仕事、アクセサリー作りなどを切り口に、地域に開いた場づくりを行っています。川口地域の、さまざまな館で開催している「木曜しゅげいぶ」について、「おしゃべりばかりで作品が完成できなくてもいいと思ってやっています」と話します。

他にも、同地域の木沢集落で開く展示販売会では、地域外から作品を見に来る人はもちろん、集落の住民も集い、いつの間にかみんなでちゃぶ台を囲んでいることもあるそう。「人が楽しく笑いあえる場が、まちの中にたくさんあることは幸せなこと。私がしているのは種まきなんです」。

わきたさん自身も、制作を表立って始めてからは市街地や周辺地域に出かけていくことが増え、活動が広がっているそう。「自分からやりたいと手を挙げることで、場所や機会を提供してくれる人や、応援してくれる人は現れるものです。手芸でも、飲み会でも、ちょっとしたきっかけで、人が楽しく集える場は作れます。それを続けることで交友関係が広がっていくことを体現したいです」。わきたさんの姿から、地域や社会との多様な関わり方が見えてきます。



●上：集落住民と地域外の人が出会う作品展示会では、お茶を飲みながら暮らしの知恵を教わったり、近況を報告し合うことも。●左下：親友を通じて愛知と川口を行き来すること20年。川口の景色や人に惹かれて単身移住を決めました。●右下：小国地域の藍で染めた糸を使った刺繍入りポーチ。コラボ作品が多いのも、わきたさんの特徴です。

profile

- 1965年 織物のまち愛知県一宮市に糸屋の娘として生まれ、手芸に親しんで育つ。
- 2010年 1月に川口地域へ移住。4月からは復興支援員として働き、地域を駆け回り、住民から多くのことを教わる。
- 2014年 復興支援員を退職し、秋から2年半の間、長岡大学でボランティアコーディネーターとして学生のサポートにあたる。
- 2016年 退職を機に、手芸を通じた活動に力を入れ始め、現在に至る。

活動の根っこ

「心ゆたかに
くらしたい」
くらしクリエイター
わきたたえこ

団体PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

越後川口モーターフェス実行委員会

得意を活かして地域を盛り上げる



地元の車好きな若手が集まり、モータースポーツで地域を盛り上げようと立ち上がった団体です。6月25日に川口運動公園駐車場を会場に越後川口モーターフェスティバルと題して、ドリフト競技を行いました。ドリフトはファンが多く、地域のみならず県外からも人が訪れます。川口をPRL地域活性化につなげていきたいと考えています。様々な人の協力を得て若手グループで地域を盛り上げていきます。

音楽の森プロジェクト

森林の中で手づくり音楽フェス!



小国地域の森林に囲まれながら音楽を楽しむイベント「音楽の森」を2015年から主催する音楽の森プロジェクト。「小国の森林を活かす活動ができないか」と仲間と盛り上がったことがきっかけでした。生物多様性あふれる「森」のように音楽のもつ多様性を感じてほしいと、あえて音楽ジャンルを限定せず、ジャズ・ロック・民族音楽・吹奏楽など様々な音色が響きます。音楽と森林のコラボで小国を盛り上げます。

長岡縄文の丘マラソン実行委員会

力を合わせてマラソン大会を実現!



宮本・大積・青葉台・関原の4地区が協力して、地域おこしのマラソン大会を10月1日に開催します。馬高遺跡のある西部丘陵地帯を走ることになんて、「縄文鍋」が振舞われるなど縄文時代に思いを馳せる仕掛けが随所に。実行委員と本業の両立は困難もありますが、地元企業や賛同者に支えられながら準備を進めています。困難が大きい分、走り切ったときに周辺地域の結束力はより強固となるはずですよ。

特定非営利活動法人子どもの虐待防止ネット・にいがた

市民目線で子どもを虐待から守る



子どもを虐待から守るために、学校・幼保・企業などでのセミナーや親向けの講座など、各種啓発・子育て支援活動などを行っています。平成14年に子どもの虐待問題に関心のある市民が集まり、自分たちに出来る活動をしようと団体を設立。出会った親御さん達が自分にあった子育てに気づき、自信を得た姿をみると私たちも力を貰います。これからも市民の目線を活かし、活動していきます。

長岡企業のソーシャルアクション!

地域活動を支える企業をご紹介します

朝日酒造株式会社／公益財団法人こしじ水と緑の会

地域とともに発展する企業

朝日酒造株式会社は、地域とともに歩み発展したいと、CSRに取り組んでいます。特に、「きれいな水と良質なお米がなければおいしいお酒は作れない」と、自然環境整備に力を入れ、「公益財団法人こしじ水と緑の会」を立ち上げ、自然環境に取組む団体への助成や里山保全などを行っています。ホテルの保護やもみじ園の整備など社員と共に様々な活動を通して地域に貢献しています。

